

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

特別支援学校助教諭（看護教員）

評価領域		着眼点
I 自立活動の指導等	看護計画の作成・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や医療機関と連携し、実施可能な医療的ケアについての看護計画（個別マニュアル）等を作成している。</li> <li>・常に看護に関する必要な情報を収集するとともに、他の教諭と連携しながら適切に情報提供を行っている。</li> <li>・児童生徒の実態やニーズを踏まえて目標を設定し、年間を通じて計画的に医療的ケアを進めている。</li> <li>・保護者や医療機関等と連携しながら、適宜、看護計画を見直し、改善を行っている。</li> </ul>
	健康管理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な児童生徒の心身の健康状況、看護上の課題に関する情報を適切に管理している。</li> <li>・教員間で医療的ケアに関する課題や学部・学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努め、連携・協力している。</li> <li>・看護に関する知識・技能が発揮され、児童生徒の健康・安全を促進している。</li> <li>・個々の実態に応じ、他の教諭と連携しながら将来の生活を考慮に入れた看護相談等を行っている。</li> </ul>
II 環境整備等	衛生管理と救急処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアに必要な器具等の、日常の点検及び衛生管理を適切に行っている。</li> <li>・日頃から、保護者、医療機関等との連絡を密にし、他の教諭と連携しながら救急処置に必要な協力体制を形成している。</li> <li>・感染症や疾病の予防、救急処置等の専門的な知識・技能の向上に努めるとともに、緊急事態に対して、冷静、的確に対応している。</li> </ul>
III その他の校務等	校務分掌等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務分掌の意義や自らの役割を理解し、適切な活動を展開し、責任を果たしている。</li> <li>・分掌等の課題について改善策を示すなど、学校運営に参画している。</li> <li>・保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進している。</li> <li>・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。</li> </ul>
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。</li> </ul>